

平成 22 年度 事業報告書

文部科学省研究振興局管下学術研究法人

財団法人 教育調査研究所

I 教育の内容および方法に関する一般的調査研究

1. 第 39 回教育展望セミナーの開催

平成 22 年 8 月 4 日(水)、5 日(木)の両日、アルカディア市ヶ谷(私学会館)を会場として開催された。

2. 「調研セミナー」の開催

昨年度は、2 会場で開催された。

(1) 第 14 回 平成 22 年 11 月 27 日

会 場 静岡県浜松市「浜松市商工会議所マイカホール」

(2) 第 15 回 平成 22 年 12 月 18 日

会 場 愛媛県松山市「エスポワール愛媛文教会館」

テーマ 「新学習指導要領下での言語活動の充実—言語力の向上をはかる—」

3. 平成 23 年 1 月 8 日 第 17 回教育展望札幌セミナー（「評価を活用した学校改革—未来を拓く子供をはぐくむ評価—」）を開催した。

4. 教育の内容・方法に関する文献・資料について、「新しい教育課程の研究」・「授業の改善・研究」・「教育評価の研究」・「学校教育の一貫性」・「特別支援教育」・「新学習指導要領」・「学力問題」・「カリキュラム・マネジメント」・「小学校の外国語活動」に関する文献・資料に関するものを重点的に収集し整理した。

また、「特色ある開かれた学校」・「確かな学力の育成」・「総合的な学習」・「指導と評価の一体化」・「少人数・習熟度別学習」・「学校力・教師力・人間力」・「子どもをめぐる問題」・「公教育のあり方」・「学校の危機管理」に関する文献・資料を収集・整理した。

5. 各研究機関・団体・実践現場との情報交換

全国教育研究所連盟（全教連）、関東地区教育研究所連盟（関教連）、民間教育研究所連盟（民教連）、日本教育工学会をはじめ、日本発達心理学会、日本カリキュラム学会、その他学会及び教科書研究センター・教育研修センター・各教育団体、各学校からの研究紀要・資料提供を受けた。

Ⅱ 教育評価に関する理論的実践的研究

1. 教育評価に関する理論的研究、実践的事例の研究
第39回教育展望セミナーにおいて、学校評価の見直し、教育課程における評価活動について研究を深めた。
2. 機関誌「教育展望」の特集にあわせた評価論文をとりあげた。

Ⅲ 教材一般の質的向上に関する調査研究

1. 各種学校教育の調査研究に関する事項について、編集・協力した。

Ⅳ 教材システムおよび教育機器の利用に関する研究開発

1. 教育工学関係資料(情報)の入手
日本教育工学会の維持会員として、教育工学関係資料(情報)や、インターネットを利用した授業実践事例の入手につとめた。
2. 情報教育・情報機器推進に関する研究
機関誌『教育展望』の特集「学校教育における情報化の動向」にあわせた研究論文をとりあげた。(平成22年10月号)

Ⅴ 研究調査に関する成果の発表および普及

1. 機関誌『教育展望』の定期刊行(年10回)
2. 『教育展望臨時増刊No.42「評価を活用した学校改革」第39回教育展望セミナー討議資料』を平成22年7月10日に発行し、セミナー参加者全員に事前発送を行った。
3. 『研究紀要』第90号「校内研究の実態と充実のための方策」を平成22年6月15日に発行した。

以 上